

放送大学「生涯学習支援番組」（2026年度第1回制作）の  
制作に係る提案募集について

次のとおり提案を募集します。

2026年2月19日

分任契約担当者

放送大学学園 財務部長 北原 文幸

記

1 提案を募集する事項

- (1) 件名 放送大学「生涯学習支援番組」（2026年度第1回制作）の制作業務
- (2) 仕様等 放送大学「生涯学習支援番組」（2026年度第1回制作）の制作業務仕様書（以下「仕様書」という。）のとおりに。

契約の案件の説明については、仕様書を送付する方法により行います。

つきましては、仕様書の送付を希望される場合、下記の連絡先にご連絡をお願いいたします。

放送大学学園放送部放送管理課業務係 mail:gyoumu-k@ouj.ac.jp

※在宅勤務等で担当者が不在の場合がございますので、恐れ入りますがご連絡は必ずメールにてお願いいたします。

2 概算所要経費

仕様書のとおりに

3 応募者に必要な資格に関する事項

- (1) 「放送大学学園契約事務取扱規程」第4条及び第5条の規定に該当しないものであること。
- (2) 国や地方公共団体の機関において、取引停止又は指名停止の処分を受けているものでないこと。
- (3) 有効年度が令和7年度の「全省庁統一資格」において、関東・甲信越地域の「役務の提供等」のA,B,CまたはDの等級に格付けされている者であること。

#### 4 提出書類等

『放送大学「生涯学習支援番組」(2026年度第1回制作)の制作に係る業者選定実施要領(以下「実施要領」という。)]による。

#### 5 選定方法等

概算所要経費の範囲内において、有効な見積金額を提出した者の中から、放送大学「生涯学習支援番組」(2026年度第1回制作)に係る制作業者審査基準等に基づき、学園の評価担当者による提出書類等の審査を行う。

審査の結果、番組毎に、最も優秀と認められた業者を一者選定する。

なお、審査内容や経過に関する問い合わせには応じない。

#### 6 契約について

契約書の作成を要する。

#### 7 本件に関する問い合わせ先

〒261-8586

千葉市美浜区若葉 2-11

放送大学学園 放送部放送管理課業務係

MAIL gyomu-k@ouj.ac.jp

#### 8 提出書類等の提出先、提出方法及び提出期限

(1) 提出先 上記7と同じ

(2) 提出方法 郵送\*による

(3) 提出期限 郵送：2026年3月12日(木)17時必着

※配送確認のとれる方法(例：書留等)で提出すること。

#### 9 その他

(1) 提案に要する経費は、全て提案者負担とする。

(2) 提出された書類等は、返却しないものとする。

(3) 「3 応募者に必要な資格に関する事項」に定める資格を有しない者、提出書類に虚偽の記載をした者の企画提案は無効とする。

(4) 企画競争の結果については、各提案者に通知する。

## 放送大学「生涯学習支援番組」(2026年度第1回制作)の制作業務仕様書

### 1. 業務概要

放送大学学園(以下「学園」という。)のテレビ番組(以下「番組」という。)の構成・演出・収録・編集等の制作業務を行う。

本番組は、2026年度以降に放送予定のテレビ生涯学習支援番組である。

請負事業者は、学園が示す企画方針及び計画に基づき、学園プロデューサー等と連絡・協議を行い、かつ連携をとり、番組制作業務を遂行する。

### 2. 請負期間

仕様書別紙1のとおり

### 3. 制作する番組・本数・概算所要経費

仕様書別紙1～5のとおり

### 4. 番組制作業務の具体的内容、手順

#### (1) 放送番組の演出

- ・出演講師、学園プロデューサー等と打合せによる内容原案を元に、演出方法及び内容を策定、実施

#### (2) 内容検討・番組進行表の作成

- ・番組全体の構成案(項目、配列、時間、配分)策定
- ・映像・音声素材等の選定(ビデオ・写真・コメント等)
- ・出演者との内容・スケジュールの交渉(講師・ゲスト等)
- ・ロケーション先の選定、必要に応じた下見

#### (3) ロケーション(国内)の実施と編集

- ・ロケーション(国内)に必要な要員の手配、機材の準備及びロケーションの実施
- ・出演者のヘアメイク及び衣装の手配
- ・ロケーション実施後の映像・音声の編集等、ポストプロ業務

#### (4) 番組の素材資料の収集と作成

- ・動画・静止画・図版等の収集及び作成。資料の収集にあたっては学園が推奨する素材(AFP)を優先的に選択する。今回放送及び学園ウェブサイトでの公開と併せて、YouTube等外部ウェブサイト上での一般向け公開も前提としているため、著作権フリー素材(音楽を含む。)の使用が望ましい。なお、日本経済新聞社の著作物については使用を控えること(許諾条件の履行が困難であるため)。併せて、資料の作成(生成AIを利用する場合を含む。)にあたっては既存の著作物と類似していないか確認するなど著作権侵害を生じさせていないか慎重を期すこと(下記(7)にあっても同様)。

#### (5) 請負事業者による「放送大学学園著作物利用規程」に基づく権利処理

処理にあたっては、以下の点に留意のこと。

- ・学園が定める承諾書を出演者から受領すること。また、受領した承諾書はコピーを保管の上、原本は放送部放送管理課へ提出すること。
- ・番組出演者(学園の教員を除く)にかかる出演料、交通費等は、請負事業者が負担すること。
- ・上記(4)の素材資料の放送(マルチ編成含む)等利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理を行い、それに伴う費用は請負事業者が負担すること。

- ・放送（衛星、CATV等による同時放送を含む）・インターネット配信（学園のウェブサイト上での一般向け公開。YouTube等外部ウェブサイト上での一般向け公開にも対応のこと。ストリーミング方式であって、在外学生向けを含む。）の利用許諾を得ること。
  - ・学習センター等へのDVD配架等の番組の二次利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理を行うこと。
  - ・権利処理及び利用した素材（音楽及び上記3）等に伴う出演者並びに上記4）含む）等の記録報告を学園所定の書式（「著作権処理業務完了報告書」及び「楽曲使用報告書」）にて紙及び電子媒体で行うこと。
  - ・制作した番組（放送用利用分以外の番組収録素材を含む）の中に第三者に帰属する権利を侵害しているものが含まれていることが発覚した場合は、請負事業者が全責任を負うこと。
- (6) 美術セットの調達と操作
- ・大道具・小道具、生花木の調達及び操作
- (7) タイトル、テロップ・パターンの制作等
- ・タイトル、テロップ・パターンのデザイン及び制作
  - ・CG・アニメーションの作成及び操作
- 番組の告知用動画の開始タイトル及び終了タイトルの表示方法は、別途学園プロデューサー等の指示に従うものとする。
- (8) 番組の試写
- ・学園プロデューサーによる完成前試写及び指示に応じた修正作業
- (9) 放送用台本の作成、印刷
- ・放送用台本の作成及び印刷
- (10) 音響効果
- ・番組に関わる選曲及び効果音制作等
- (11) スタジオ収録及び収録時の副調整室及びフロアでの指揮
- ・スタジオ収録に関わる各種伝票処理
  - ・出演者・技術スタッフとの収録打合せ
  - ・ドライ、カメラリハーサル
  - ・学園プロデューサー等の検査後、ディスク等引渡し
- (12) 広報用写真の作成
- ・画像例
  - ・番組タイトル画像
  - ・各出演者のバストショット画像
  - ・出演者全員が映っている画像
  - ・番組イメージの分かるグラフィック画像等
  - ・画像サイズ1920×1080、画像形式は学園プロデューサーの指示に従う
  - ・学園ウェブサイトでの掲載・ニュースリリース配信等のインターネット利用のための著作権処理を行っているもの
- (13) 後処理、手直し等
- ・資料の整理
  - ・伝票の整理
  - ・番組制作に使用した素材テープ等の入庫整理
  - ・納品後、番組の手直しについて、請負事業者の責めに帰すべき理由によるものは、請負代金に含むものとする。
- (14) 上記各項目の業務遂行のために必要な打合せ参加

## 5. 番組制作業務に必要と想定される職種及び人数

請負事業者は、学園プロデューサーと協議のうえ、当該業務を適切に遂行できるよう各業務内容に応じ必要な専門知識を有する者を手配するものとする。

## 6. 学園施設・機器等

- (1) 収録は学園のテレビスタジオを使用することができる。その場合、収録に係わる業務に必要な技術要員は、学園で措置する。
- (2) 完成素材収録用 XDCAM メディア、スタジオ収録用 XDCAM メディア、番組考査試写用 DVD-R、番組編成業務用 DVD-R は必要な数を貸与する。なお、DVD-R の貸与については、学園が別に指定するクラウドサービスの利用に代える場合がある。
- (3) 請負事業者が手配・調達するものは以下の通り。
  - ・学園スタジオでの収録時に必要な要員（技術要員を除く）
  - ・ロケ（要員及び機材）
  - ・オフライン編集（要員及び機材）
  - ・音響効果（要員及び機材）
  - ・スタジオ大道具・小道具、道具操作
  - ・メイク
  - ・衣装(スタイリスト)
- (4) 上記に含まれないものについては学園と請負事業者が協議の上で決定する。

## 7. 記録媒体等

学園が使用する記録媒体は XDCAM メディアであり、記録媒体の学園外への持ち出し及び学園への持ち込みについては、全て XDCAM メディアで対応すること。

## 8. 学園への納入物品の取扱い

次の完成物を番組の種別ごとに記載された数量を履行期限までに①～⑤を制作部へ、⑥～⑩を放送部放送管理課へ納入し、学園職員による検査を受ける。なお、③及び④、⑤については、学園が別に指定するクラウドサービスの利用に代える場合がある。また、納入物品は**学園技術フォーマット（別添の「テレビ制作技術基準」を参照）に準拠すること。**

	生涯学習支援番組 (1番組あたり)	告知用動画 (1番組あたり)
① 放送用本番素材記録XDCAMメディア	1本	1本
② クリーンピクチャー収録XDCAMメディア	1本	1本
③ 番組考査試写用DVD-R	1本	1本
④ 番組内容確認用DVD-R	1本	—
⑤ インターネット配信用本番素材（データ）	※2	—
⑥ 放送用台本電子媒体	1式	—
⑦ 広報用写真電子媒体	1式	1式
⑧ 著作権処理業務完了報告書 ※1 (紙及び電子媒体)	1式	1式
⑨ 楽曲使用報告書（紙及び電子媒体）※1	1式	1式
⑩ 出演者から受領した承諾書の <b>原本</b> ※1 (上記4. (5)を参照)	1式	

※1 学園所定の書式で提出すること。

※2 生涯学習支援番組1本あたり全体尺45分を3つ程度のパートに分割し、インターネット配信用本番素材（MP4形式）として納入させる場合がある。その場合、当該素材データに係る動画及び音声のコーデック等や各パートの冒頭及び末尾にタイトル等を付与するなどのフォーマット、その他の詳細については、別途学園が行う指示によること。

## 9. 番組制作業務完了の報告

請負事業者は、業務完了後「番組制作業務完了報告書」を放送部放送管理課に提出すること。

## 10. 請負代金の請求・支払

請負事業者は、8及び9の検査に合格したときは、請負代金を学園に請求する。学園は、適法な請求書受理後、40日以内に財務部経理課から支払うものとする。

#### 1 1. 著作権の帰属等

- (1) 制作した番組（放送用利用分以外の番組収録素材を含む）に関する著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）は学園に帰属する。
- (2) 番組は、学園の著作名義で公表する。なお、制作協力等の表示は、学園の基準によるものとする。
- (3) 学園は、番組等及び関連素材を必要により改変して使用することができる。
- (4) 請負事業者は、著作者人格権について、一切行使しないものとする。
- (5) 上記各項目は、許諾を得た第三者の権利の帰属に影響を及ぼさない。

#### 1 2. 業務内容の変更等

- (1) 本仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負事業者の責任において履行するものとする。
- (2) 予期することができない状態の発生など、業務内容を変更せざるを得ない場合には、学園と請負事業者が協議の上で、業務内容を変更することができる。
- (3) 業務内容が変更された場合には、請負代金についても協議の上、変更することができる。

#### 1 3. 安全の確保

- (1) 請負事業者は、業務の実施にあたり、請負事業者の従業員を直接指揮命令する者（以下、「現場責任者」という。）を必要に応じて 1 名以上選任し、任務に当たらせるものとする。
- (2) 現場責任者は、業務の実施の過程における安全対策について、請負事業者の従業員及びその指揮下にある全てのスタッフの安全確保に十分取り組むとともに、徹底を図る。

#### 1 4. 業務の再委託等

請負事業者は、業務の実施にあたり、業務の全部又は一部を第三者に委託し、又は、請け負わせてはならない。ただし、業務の一部については、あらかじめ、学園の書面による承諾を受けた場合は、この限りではない。

## 制作する番組・本数・概算所要経費・請負期間

## 1. 生涯学習支援番組 4番組

No.	分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）	請負期間
1	放送大学スペシャル	戦争とトラウマ (45分×2本)	4年 40回	4,026.0 千円	契約締結日～ 令和8年12月31日
2	放送大学スペシャル	詞（ことば）の精神分析 ～きたやまおさむの名曲から～ (45分×2本)	4年 40回	3,619.0 千円	令和8年10月1日 ～ 令和8年12月31日
3	科学からの招待状	レアアースの科学 (45分×1本)	4年 40回	2,150.5 千円	契約締結日～ 令和8年10月31日
4	新・特別講義	2025年ノーベル化学賞受賞 記念 北川進 京都大学高等 研究院特別教授 (45分×1本)	4年 40回	2,142.8 千円	契約締結日～ 令和8年5月31日

## 2. 告知用動画（放送やネット配信等で利用する1分間の告知用動画） 4番組

No.	題目名	本数	概算所要経費（税込）
1	戦争とトラウマ	2本	上記1 No.1に含む
2	詞（ことば）の精神分析 ～きたやまおさむの名曲から～	2本	上記1 No.2に含む
3	レアアースの科学	1本	上記1 No.3に含む
4	2025年ノーベル化学賞受賞記念 北川進 京都大学高等研究院特別教授	1本	上記1 No.4に含む

※出演者は現時点の予定であり、変更の可能性がある。  
出演予定者に内容等問い合わせを行うことは厳禁とする。

仕様書別紙 2

担当プロデューサー、ディレクター  
制作部 藤田英世

1) 番組名(グループ名)  放送大学スペシャル	2) 個別番組タイトル  戦争とトラウマ
3) 放送回数、期間、マルチ展開など ・ 4年 40回 ・ インターネット配信公開講座での無料配信を希望 ・ YouTubeでの配信を希望	4) 番組尺、本数 45分 × 2本
5) 内容等 a. 目的・ねらい・視聴ターゲット 戦争・震災・性暴力や虐待など、言語に絶するほどの凄惨な経験が人間の精神に及ぼす破壊的な影響は、19世紀以降精神医学や心理学において論じられてきた。中でも戦争は、トラウマを負った人々を集団で生み出し、PTSD(心的外傷後ストレス症)という概念の誕生やトラウマ研究の発展に大きな影響を及ぼしてきた。 本講座では、ここ10年ほどの間に注目を集めるようになった、アジア・太平洋戦争とトラウマの問題を、主に日本兵とその家族に焦点をあてて考える。およそ80年前に終結した戦争が、今なお破壊的な影響を及ぼし続けていることを示し、現代の戦争やメンタルヘルスについても多角的に考える視座を提供できる内容を目指す。  <u>視聴ターゲットについて</u> 知られざる戦争の不条理を伝えるため、世代・年代を問わず、より多くの人たちの視聴を望みたいが、番組テーマに関連する精神医療に従事する、または学ぶ人たち(精神科医や看護師、精神保健福祉士、医学生)、日本近代史を専攻する研究者や学生にも教材的観点から見てもらいたい。  <u>YouTube配信について</u> これまで明らかにされて来なかった日中戦争、太平洋戦争におけるトラウマを抱えた兵士や、その家族の実態をより多くの人たちに伝える必要があり、その中には精神科を希望する若手の医師や看護師、近代史を専攻する大学生や院生も含まれるため、YouTube配信を希望する。	
b. 内容・構成 <u>第1回「心を壊された日本軍兵士たち」(スタジオでの講義)</u> ・ 二つの世界大戦とトラウマ: 大量殺戮と長期的な総力戦を特徴とする第一次・第二次世界大戦において兵士たちのトラウマが軍事医学の対象となり、日本では日中戦争以降軍部の関心を集めたことを確認する。 ・ 「天皇の軍隊」と戦争神経症の不可視化: 日本の軍隊の特徴が、兵士たちのトラウマの経験・記録・医学的解釈・周囲の対応・自己認識・回復などに影響を及ぼし、戦後も70年近く「見えない問題」にな	



※出演者は現時点の予定であり、変更の可能性がある。  
出演予定者に内容等問い合わせを行うことは厳禁とする。

担当プロデューサー、ディレクター  
制作部 吉田直久

1) 番組名(グループ名)  放送大学スペシャル	2) 個別番組タイトル  詞(ことば)の精神分析  ～きたやまおさむの名曲から～
3) 放送回数、期間、マルチ展開など ・ 4年 40回 ・ インターネット配信公開講座での無料配信を希望 ・ YouTubeでの配信を希望	4) 番組尺、本数 45分 × 2本
5) 内容等 a. 目的・ねらい・視聴ターゲット 本番組は定年退職を迎える世代、後期高齢者に入る世代に向け、作詞家きたやまおさむ(60年代、一世を風靡したバンド「ザ・フォーク・クルセダーズ」のメンバー、精神分析医・白鷗大学学長 北山修)が作詞した数々の名曲の歌詞から、現代人の抱える「むなしさ」や「喪失感」を、精神分析的な視点から肯定的に見つめ直し、「ほどほど」に人生を全うする知恵など、精神分析医でもあり、作詞家でもある北山修・きたやまおさむさんならではのシニアのための人生論を2回シリーズで堪能する。  <u>北山修(きたやまおさむ)が考える『「むなしさ」の味わい方』とは・・・</u> 「むなしさ」を負の感情ではなく、成熟へのステップとしてとらえなおす。 日本人特有の「すまない(澄まない)」という感覚を肯定し、心の余裕(レジリエンス)を獲得する。  <u>YouTube 配信について</u> ・ 視聴ターゲットに該当する60代以上の世代にとって憧れの存在であるため、多くの人たちの視聴希望に応えるために放送だけでなくYouTubeでの配信を行う意味があると考えます。 ・ 著作権が関わる楽曲使用は止め、きたやまさんご自身が必要な歌詞を口ずさむことで、YouTube配信が可能な状況にする。	
b. 内容・構成 <u>□前編</u> ①万能感の墜落と「自己愛」の行方 テキスト:「帰ってきたヨッパライ」 ②対象喪失と「分離不安」のメロディ テキスト:「あの素晴らしい愛をもう一度」「白い色は恋人色」 ③シニカルな虚しさと宙ぶらりんの受容 テキスト:「さらば恋人」「風」 <u>□後編</u> ①無意識の「罪悪感」からの解放と世代交代 テキスト:「戦争を知らない子供たち」 ②依存からの決別と「旅立ち」の能動性 テキスト:「花嫁」 ③喪の作業としての別れ、思い出の整理 テキスト:「さよならの歌」 ④老年的超越—「むなしさ」と「余白」の再定義 テキスト:「良い加減に生きる」	

c. 取材対象	ロケ取材	: 有	・ <input type="checkbox"/> 無
d. 出演者など	(※キャリアアップ支援認証制度を希望する場合は、担当講師及び客員教員発令の有無も記載) きたやまおさむ (作詞家・精神分析家)、スージー鈴木 (音楽評論家) 作詞部分ナレーション: レジェンド声優を想定		
6) 主体性の確保	視聴ターゲット層に合致する放送大学学生から質問を集め (場合によってはスタジオに集め) 北山さんに回答してもらおう。全体の構成台本を (インタビュー内容を除く) 責任教員も関わり制作 (監修含め) することで本学の主体性を確保する。		
7) 制作予定期間	令和8年10月 ~ 12月末		
8) 演出上の特記事項	※スタジオ収録、VTR インサートなし。PowerPoint 多数使用。		
9) 字幕制作希望	<input type="checkbox"/> 有	・	無

※出演者は現時点の予定であり、変更の可能性がある。  
出演予定者に内容等問い合わせを行うことは厳禁とする。

担当プロデューサー、ディレクター  
制作部 足立圭介

1) 番組名(グループ名)  ”科学”からの招待状	2) 個別番組タイトル  レアアースの科学
3) 放送回数、期間、マルチ展開など ・ 4年間 40回 ・ インターネット配信公開講座での無料配信を希望 ・ YouTubeでの配信を希望	4) 番組尺、本数 45分 × 1本
5) 内容等 a. 目的・ねらい・視聴ターゲット 「レアアース」という言葉はニュースなどで頻繁に耳にするが、その実体についてはあまり知られていない。レアアースの特徴は、原子内部に局在した 4f 軌道電子の存在にある。このミクロな原子構造が、いかにして「最強の磁力」や「鮮やかな発光」というマクロな機能へ繋がるのかを可視化してわかりやすく解説する。レアアースがなぜ「レア」なのか、どんな特性があるのか、現代の産業で不可欠とされるのはなぜかについて、物質科学の視点から迫っていく。国際情勢や経済動向に関心があり、科学について好奇心がある人たちが主な視聴ターゲット。  <u>YouTube 配信について</u> レアアースはニュース報道やネットでも大きな話題となり、幅広い層（学生、社会人、行政、経営者、一般市民）が関心を持つテーマになっているため、YouTube での配信に適している。また、配信を行うことで「社会の関心事を学問的に解説」という本学や番組のブランディング効果が期待できる。  b. 内容・構成 <u>○レアアースはなぜ重要なのか</u> 様々な先端産業に不可欠で「現代のビタミン」と言われるレアアース。その理由は、レアアースが持つ「最強の磁力を作る能力」「光を操る能力」などの特性にある。どのような働きをするのか、スタジオでネオジム磁石やレアアース溶液を使った実験で見せる。また、様々な特性を持つ理由を、電子構造の特徴（4f 軌道）から、わかりやすく解説する。  <u>○レアアースはなぜ「レア」か</u> レアアースは金や鉄のように鉱脈として集まって存在することがほとんどない。さらに 17 種類あるレアアースは、お互いに似通っているため化学反応を起こさせても同じように動いてしまい、特定の 1 種類だけを取り出すことが極めて困難だ。原子の大きさのわずかな差を利用して、何千回もの抽出を繰り返して純度を高めていく必要がある。「どこにあるのか」「どうやって取り出すのか」の 2 つの視点から「レア」である理由を解説する。	

○世界を支えるレアアースと日本の大地

現代社会を支えるレアアース資源の多くは、中国南部に分布するイオン吸着型鉱床に依存している。花崗岩の風化によって生じた粘土鉱物へのイオン吸着という地質学的プロセスが、世界の産業構造にまで影響を及ぼしているのだ。

同じ自然現象は、東京大学の高橋嘉夫教授らによって日本の田上花崗岩体でも確認された。規模は異なるものの、レアアースがどのように自然界で集積・濃集するのかを理解する上で、重要な比較対象となる。中国のイオン吸着型鉱床と田上花崗岩体を対比しながら、レアアースが自然界で集積するメカニズムと、その地質学的背景をわかりやすく解説していく。

(演出) 放送大学のスタジオで、安池教授ときき手で進行。ロケ映像はVTR インサート。

c. 取材対象      ロケ取材    :    有    ・   無

高橋嘉夫（東京大学大学院理学系研究科教授）※案

d. 出演者など（※キャリアアップ支援認証制度を希望する場合は、担当講師及び客員教員発令の有無も記載）

安池智一教授（放送大学教授）、きき手（1人）

6) 主体性の確保

本学の専任教員が、企画、構成、出演、および監修にあたるため、主体性は確保できる。

7) 制作予定期間

契約締結日    ~   令和8年10月末

8) 演出上の特記事項

放送大学のスタジオで収録

9) 字幕制作希望

有    ・   無

※出演者は現時点の予定であり、変更の可能性がある。  
出演予定者に内容等問い合わせを行うことは厳禁とする。

担当プロデューサー、ディレクター  
制作部 押尾由起子

1) 番組名(グループ名)  新・特別講義	2) 個別番組タイトル  2025年ノーベル化学賞受賞記念  北川進京都大学高等研究院特別教授
3) 放送回数、期間、マルチ展開など ・ 4年40回 ・ インターネット配信公開講座での無料配信を希望 ・ YouTubeでの配信を希望	4) 番組尺、本数 45分 × 1本
5) 内容等 a. 目的・ねらい・視聴ターゲット 2025年10月ノーベル化学賞を受賞した北川氏の多孔性配位高分子の研究は、大気中の汚染物質の除去や二酸化炭素の捕捉など、エネルギー/環境/医療分野における諸問題の新たな解決策を提供する可能性が高いと国際的に大きく期待されている。 番組では、北川氏本人の解説によって、その研究内容の本質を丁寧に解き明かすとともに、基礎研究の重要性、ひいては次世代を担う研究者の育成支援の大切さについて、日頃からの持論を交えて熱く語っていただく。 非常に時宜性・公益性の高いテーマであるため、番組内で使用する資料映像などは、出来る限り権利処理が不要なものを選び、OCWおよびYouTube展開によって、出来る限り幅広い視聴層への訴求をめざし、併せて放送大学のプレゼンス向上にも役立てたい。  視聴ターゲット：専門領域および派生領域に関心がある学生層、現役層と共に、 基礎研究への理解・育成援助の必要性を伝えたい教育関係、関係組織団体、企業層など。 さらには、将来的に化学領域での研究を志す若年層にもアピールしたい。  <u>YouTube 配信について</u> 北川先生は今年度のノーベル賞受賞者としてニュース報道やネットで大きな話題となり、幅広い層(学生、社会人、行政、経営者、一般市民)が関心を持つ人物であるため、YouTubeでの配信に適している。また、配信することで大学や番組(新・特別講義)の認知向上といったブランディング効果が期待できる。	
b. 内容・構成 具体的な構成内容については、今後、安池智一教授による北川氏への取材・打ち合わせを経て決定する。収録場所については、北川氏の都合により京都大学側での収録になる可能性が高く、その際には日頃はアクセスすることが難しい北川氏自身の研究施設や実験の様子などを紹介する演出も入れ込み、ロケ収録でのメリットを生かす形とする。 今回、化学分野の研究者(放送大学/安池智一教授)が聴き手・進行役を務めることで、より深く自由闊達な議論が可能になると考えている。	

c. 取材対象	ロケ取材	:	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・	無
d. 出演者など	（※キャリアアップ支援認証制度を希望する場合は、担当講師及び客員教員発令の有無も記載） 北川進京都大学理事・副学長、高等研究院特別教授、安池智一放送大学教授（自然と環境コース）				
6) 主体性の確保	基本的に放送大学教員（安池智一教授）が聴き手を務めるとともに、全体の構成台本を（インタビュー内容を除く）作成することによって、放送大学の主体性を担保する。				
7) 制作予定期間	契約締結日 ～ 令和8年5月末				
8) 演出上の特記事項	特に無し（ロケ収録の可能性大）				
9) 字幕制作希望	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・	無		

# テレビ制作技術基準

別添

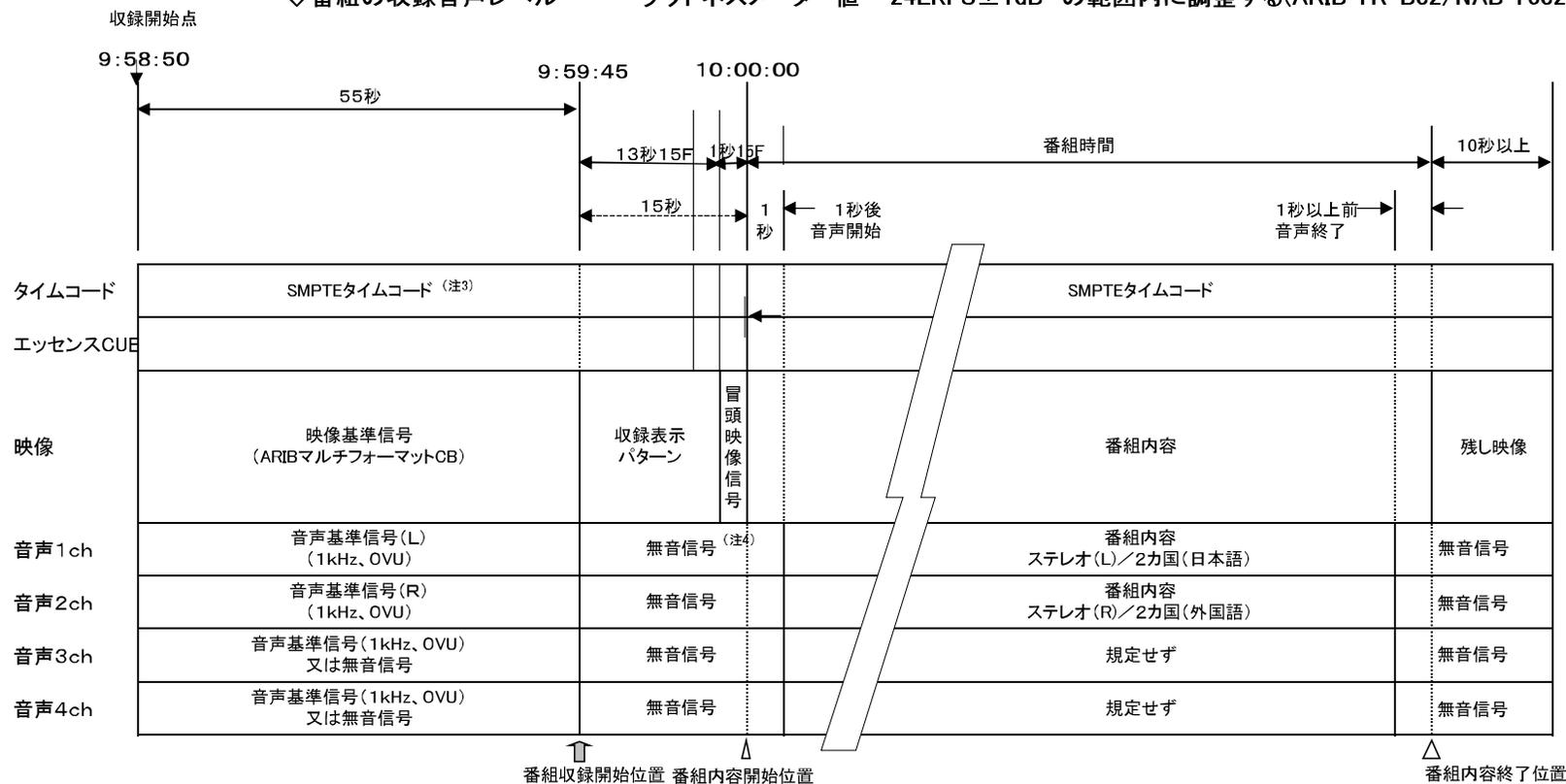
## XDCAM-HDディスク放送用収録フォーマット

令和6年4月1日

◇映像:MPEG2 422P@50Mbps      ◇音声:LPCM 48kHz 24bit 8ch ステレオ

◇MXFオペレーションパターン OP1a

◇番組の収録音声レベル      ・ラウドネスメーター値 -24LKFS±1dB の範囲内に調整する(ARIB TR-B32/NAB T032)



\* 予備SB(ステーションブレイク)は、1枚のディスクに複数本収録するが、それぞれが独立したファイルに1クリップで基準フォーマット収録する。

\* 送出サーバー登録時、09:59:58:00からファイリングするため表示パターンを09:59:58:15まで記録する。

- 注1: ARIBマルチフォーマットカラーバーは「ARIB STD-B28」に準拠すること。
- 2: 音声基準信号は、OVU=基準量子化値(フルビットから20dB下がった値 -20dBFS)とする。
- 3: タイムコードトラックには、収録開始位置から連続したSMPTEタイムコードを記録すること。(ドロップフレーム)
- 4: 無音信号とは入力信号を絞りきった(無音の)音声信号が記録された状態をいう。
- 5: 番組試写終了後、TDまたは担当者がラウドネスメーター値を番組収録連絡票に記入すること。
- 6: デジタル音声のプリエンファシスは使用しないこと。
- 7: ディスクごとに「ワンクリップ」収録とすること。
- 8: 末尾のフィラー音楽開始については、1秒以上音声の空白を挿入すること。

別添

外部制作での完プロ制作における編集ソフトの考慮すべき項目

制作番組の完成品（完プロ番組）を放送大学学園に納入の際は、サーバ登録、送付、制作の観点から、下記の編集ソフトウェアを使用すること。

1. エディウス（GrassValley EDIUS）
2. プラナス（PRUNUS）
3. アビッドメディアコンポージャー（Avid Media Composer）

※書き出し時のエンコーダは「Avid Media 4.4.」を使用すること

4. ブラックマジックデザイン（DaVinci Resolve+Main Concept）

なお、上記以外の編集ソフトウェアを使用する場合は、必ず、XDCAM ディスクにベースバンド収録して完成品とすること。

以上によらない場合は、あらかじめ学園の承諾を得ること。